

学校法人高崎商科大学カスタマーハラスメントに対する基本方針

学校法人高崎商科大学（以下「学園」といいます）は、改正労働施策総合推進法等に基づき事業主に求められるカスタマーハラスメント防止措置の趣旨に則り、教職員の心身の安全を守り、質の高い教育研究環境を維持・向上させるため、以下のとおり基本方針を策定いたしました。

1 基本姿勢

学園は、学生・生徒・園児およびその保護者、地域住民、その他学校関係者のみなさまとの信頼関係を大切にし、学生・生徒・園児の健やかな成長と質の高い教育環境の向上のため、みなさまからの真摯なご意見・ご要望には、今後とも誠意をもって丁寧に対応してまいります。

一方で、教職員に対する社会通念上許容される範囲を超えた言動（カスタマーハラスメント）に対しては、教職員の就業環境を守るため、組織として毅然とした対応を行います。

2 対象となる行為の例

業務の性質や社会通念に照らし、許容範囲を超える以下のような言動を対象とします。

（※例示であり、これらに限られません）

- ・ 不当な要求

妥当性を欠く過度な要求、教育活動と直接関係のない要求、無理な対応の強要など

- ・ 不適切な言動・態度

身体的・精神的な攻撃（暴言、誹謗中傷、脅迫等）、威圧的な挙動、過度な繰り返しの問い合わせ、長時間の拘束や不退去など

3 学園の取り組みと対応

- ・ 未然防止と体制整備

教職員への適切な対応に関する研修を実施し、誠実な対応に努めるとともに、相談窓口の設置など教職員の安全とケアのための体制を整備します。

- ・ 組織的な対応

ハラスメントと判断される行為に対しては、教職員を守るため、対応窓口の管理職・弁護士等への一本化や、状況に応じた警告・施設利用の制限等の措置をとる場合があります。

- ・ 悪質な行為への対処

悪質な行為や不法行為と判断される場合は、警察や弁護士等の外部専門機関と連携し、厳正に対処いたします。

4 皆様へのお願い

より良い教育研究環境を共に築いていくため、本方針へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2026 年 10 月 22 日

学校法人高崎商科大学
理事長 森本 淳